

奄美地方は、沖縄より早い梅雨を迎えています。県本土もそろそろかもしれません。

昔（江戸時代以前）の短歌や絵などの『梅雨』は、しとしと長雨を連想させるものも多いと思いますが、現代の梅雨は、『豪雨』がぴったりかもしれませんね。鹿児島方言では梅雨を『ながし』と言いますが、この言葉への私のイメージは『きれいサッパリ洗いながして』をいただきます。きれいサッパリ気分で梅雨を過ごそうと思うこの頃です。

さて、今月号は以下の3つのテーマについてご紹介とお知らせを掲載します。

- 1) 停電時の対応とデータ退避について
- 2) 梅雨時期の用紙保管について
- 3) オンライン請求時エラーの問合せ先について

● 停電時の対応とデータ退避について ●

もうすぐ梅雨に入り、本格的に雨が降る時期を迎えようとしています。突然の集中豪雨や連続的な長雨など、雨の降り方も様々ですが、この気象現象からコンピューターシステムを守る為にどうしたら良いかを考えてみましょう。

コンピューターを使用中に停電などが原因で電源断になると、コンピューター上のデータが失われたり、ハードウェアが壊れて機能しなくなることがあります。これらを防ぐために、多くのコンピューターにはUPS（Uninterruptible Power Supply／無停電電源装置）を接続しています。UPSは蓄電機能を内蔵し、停電時でも一定の時間（3分～5分）コンピューターに電気を供給する電源装置です。コンピューターを使用中、停電などで電源断になるとコンピューターの電源は一時的にUPSからの電源供給に切り替わります。

【突然、停電になったら】

1. コンピューターを使用中に停電になると、UPSから「ピー」などのアラーム音が鳴ります。
子機は電源が落ちてしましますが、親機はUPSからの電源供給により電源が確保されています。UPSの機種によっては、アラーム音停止のボタンがある場合もあります。
2. 親機でアラーム音が鳴ったら、UPSからの電源供給は一時的でしかないため、電源供給している間にHOPEの全ての業務を終了し、初期メニュー画面より「コンピューターの電源を切る」を選び電源を落として下さい。
3. UPSの電源をオフにして下さい。
コンピューターが完全に停止したら、アラーム音が鳴り続けます。UPSからの電源供給には限りがある為、電源をオフして下さい。

【停電から復旧したら】

1. UPSの電源をオンにして下さい。
2. コンピューターの電源を入れて下さい。
※当日の業務終了後は、通常どおりバックアップ後、電源切断を行って下さい。

【注意】

※停電の復旧後、UPSの電源を入れ忘れるとコンピューターの電源が入りません。

※UPSのバッテリーが充電されていないと、接続していても機能しません。

※落雷等で瞬間的に停電になる可能性がある場合は、UPSに頼らず、コンピューターの電源を落としておくことをお勧めします。

また、万が一に備えて毎日のデータ退避は、必ず行って下さい。突然の落雷や停電から100%被害を防止することは不可能です。そして、物理的な機械部分は部品やユニットを交換すれば修復できますが、システムの中に保存されているデータは一旦破壊されると復旧することが極めて困難になります。そんな時、毎日行っていただいていた「データ退避」が役に立ちます。内蔵ディスク内のデータが100%破壊された場合でも、退避時点の状態に復旧できます。まさに、システムを運用している中で不意の事故、障害に備える「保険」の役割を果たしていると言っても過言ではありません。そういう意味で、この梅雨時は今一度「データ退避」の重要性を再認識する良い時期であると思います。

● 梅雨時期の用紙保管について ●

印刷用紙にとっては、最悪な時期を迎えようとしています。

梅雨時期は、用紙が湿気を含み易く、印刷後に波打ち現象が出たり、印字がにじんだり薄くなったり、最悪の場合紙詰まりを起こします。対策事例をあげますので参考にしてみてください。

- 紙の在庫品をむき出しにせず、紙箱に入れたままにするか密閉できるビニール袋に入れて保管棚に保管して使用する分だけ取り出す。特に水気のある場所は絶対避ける。出来ればビニール袋には乾燥剤を入れると湿気の防止が可能です。
- 印刷物が波打ったり、用紙詰まりが多発する場合は、別の用紙と交換してみてください。新しい用紙では問題なく印刷されることがあります。また、用紙とは別にトナーカートリッジにも湿気への配慮が必要となります。

一般的にトナーカートリッジの保管では、以下の点で注意が必要です。

・カートリッジの注意点

- ①高温（40℃以上）を避ける
- ②湿度（80%以上）を避ける。
- ③光を当てない。
- ④衝撃を与えない。

特に梅雨の時期にもっとも重要なことは湿気を避けることですが、使用する前は届いた箱の状態のまま、冷暗所に保管願います。なお、一度開封した場合は、同梱の袋に再度入れていただければ、湿気を避けることが可能です。

● オンライン請求時エラーの問合せ先について ●

オンライン請求時にエラー等発生した時、動作に関するお問い合わせを頂きますが、オンライン請求は、各医療機関様と国の公的な審査機関とのデータのやり取りになり、弊社では返答致しかねる部分もございます。動作に異常を感じられた場合、下記へご連絡をお願い致します。

- ネットワーク関連ヘルプデスク
0120-220-571 （回線の接続についてのお問い合わせ）
- オンライン請求システムヘルプデスク
0120-607-210 （オンライン請求についての操作、エラーについてのお問い合わせ）

以下のアドレスはオンラインサポートサイトです。

運用情報や困った時のQ&Aが掲載されておりますので利用されては如何でしょうか。

<http://www.onlinesaikyu.jp/>

- ※ また、オンライン請求の運用を開始して3年位経過したお客様に対し、支払基金から電子証明書の変更通知が届くと思います。弊社へ変更作業を依頼される場合は、内容により別途費用が発生する場合があります。

その際は別途お知らせ致しますので予めご了承下さい。

● 広告 マイティチェッカー クラウド版 のご案内 ●

レセプト点検チェックソフトのMightyChecker（マイティチェッカー）にクラウド版が登場しますのでご紹介させていただきます。（Coming Soon！）

業界初！ 今すぐ始められるレセプトチェック

- インターネットに接続できるパソコンがあれば、24時間お申し込みが可能！！必要な時に始められます。
- 料金は季節変動に強い、枚数比例方式、点検した枚数に応じてスマートにお支払が出来ます。

5万件超の点検項目！！ 導入実績No.1 MightyCheckerPROと同じ点検制度

- 査定・返戻対策はもちろん！見落としがちな「突合点検」も過去のデータまで見直さなければ難しい「縦覧チェック」も、気が付きにくい「算定日チェック」まで、お任せ下さい。
- 最新のデータベースに自動更新、面倒な月次作業が必要ありません。

商品のお問い合わせは 日本システム 医療サポート課 までご連絡下さい。

● よもやま話 ●

蝸牛

蝸牛と書くと何それ？となりますが、今からの時期によく見かけるかたつむりのことです。

地域によっては“でんでんむし”、“まいまい”、“つぶり”、“つのだいろ”、“なめと”、“つんだり”、“ばるんな”、“かたかた”、“かさんどろ”等さまざまな呼び方があるようです。

私は童謡のを聞いていたので“でんでんむし”か“かたつむり”と言いますが皆さんはどうでしょうか？

でんでんむしについてはいくつか由来があり古典狂言「蝸牛」より「でんでん（出ない出ない）むしむし」からと大阪弁の「出出虫（ででむし；角よ出る出るむし）」からの説があるようです。

よく、殻をとったらナメクジになると言っていますが、事実海にすんでいた巻貝（えら？呼吸）が進化し陸地に上がってきたのがかたつむり（肺呼吸）です。それからさらに進化したバージョンがナメクジとなります。

進化の過程では殻が取れたらナメクジで間違いはないのですが、かたつむりは生まれた時から殻をもっており体の一部となっているため取ると死んでしまいますので取らないで下さいね。

ちなみに、世界中にかたつむりは1万種類（日本は500種類ほど）いますが、そのうち食用（エスカルゴ）は4種類しかありません。寄生虫の宝庫なので絶対に食べないでください。

私も小さい頃は良く捕まえてむしかごで飼っていましたが、かたつむりは広東住血線虫を持っている可能性があるため触った後は必ず手洗いする事を忘れないで下さい。

療養病床向け

ADL評価システムのご案内

療養病棟届け出医療機関においては、入院患者の心身の状態を医療区分内容1～37の状態観察と、ADL評価区分によって医療区分1，2，3を算定し医療請求することが定められています。このための毎月（毎日）の評価票や統計資料作成が事務作業として負担になっていると感じられることはないでしょうか？

今回、療養病棟をお持ちの医療機関様向けに事務作業の負担軽減と作業効率化を目的としたADL評価システムのご案内をさせていただきます。

★ADL評価システムの機能★

○ 評価票入力機能

評価票を登録、変更を行う機能です。登録したデータはExcelやテキストデータへ展開でき、状態評価、医療区分の該当有無の自動計算、保存、印刷（患者様へ提示用）等が可能です。前月評価票の複写機能（一括、個別）を備えており、訂正も瞬時に可能です。

○ 医事会計システム（HOPE/SX-J,R）連携機能

医事会計システムと連携し基本情報や病室情報を参照、利用します。

登録した評価票情報（ADL得点、疾患状態）は医事システムの入院カレンダー情報と相互に連携が可能です。

○ 統計資料作成

ADL得点集計票や医療区分集計表等。入院基本料の算定状況がわかる帳票やデータがいつでも出力可能です。

実際にご覧頂きながらのご説明も可能です。

ADL評価システムのお見積もりやデモンストレーションのご依頼は、弊社下記担当までご連絡頂けますようお願い申し上げます。

日本システム株式会社 医療福祉ソリューション本部

システムサポート課

連絡先 TEL 099-254-7200

FAX 099-253-8959